

ステーション整備の進捗は。

(答)都市整備部長 国の工事、堤防強化対策事業を含む用地買収が9割、工事が約5割完了し、また、防災ステーションの利活用では、災害時は、水防活動の拠点として、平常時は、地域の人々のレクリエーションの場として、賑わい拠点として、活用されるよう引き続き協議を進めながら国へ要望していきます。

(問) 野田橋付近の交通渋滞解消への取り組みについて。

(答)都市整備部長 交通渋滞の状況は認識しています。信号機について埼玉県警察本部で特別点検を実施。野田橋方面の車両が先詰まりするため、「青矢印の信号の設置は難しい」とのこと。今後も時差式など関係機関と要望内容について検討していきます。野田橋の付け替えを含む4車線化や建設の早期完成に向け、埼玉県と千葉県に要望していきます。

東埼玉テクノポリス拡張の進捗・今後の農業政策

加藤 克明

(問) 拡張の進捗状況は。

(答)産業振興部長 昨年12月に埼玉県企業局、今年1月と6月に埼玉県企業局と都市整備部田園都市づくり課に。5月には企業局公営企業管理者を訪問。これまでの経緯を説明。企業局での施工について市の意向を伝えた。企業局公営企業管理者からは、

近年の経済状況から新たな開発地、特にニーズが確定である拡張地を求めているとの話を頂き

(問) 機運高まる埼玉型ほ場整備について。

(答)産業振興部長 埼玉型ほ場整備の実施については、地権者や耕作者の同意が前提。事業内容を十分に理解を頂き、地域の地権者を中心とする協議会の設立、地権者の方々から事業への同意を頂き県が事業化。主な条件として事業面積20ha以上である事業実施地域内の農地の一定割合を担い手と呼ばれる中心的な農業者へ集積する事とあります。

おあしす改修と「はーとふるぼっし」閉店

稲垣 茂行

(問) 3月議会での減額修正をどう受け止めたのか

(答)市長 粛々と受け止めたが、疑問が残る。この場で、一問一答で明らかにしたい。

(問) すでに3ヶ月が経過したが、この間、市はなにをしたのか。

先程の市長の提案については、『反問権』の問題もあり、全員協議会等の場で議論したい。

(答)教育部長 設計業務は、減額変更契約を行い、コミュニティスペース再構築のコンサルタン卜契約は協議している。尚、5月31日の政策会議で「お

あしす改修については、当面の間凍結」を決定した。

(問) おあしす「はーとふるぼっし」閉店の経過は。

(答)こども福祉部長 昨年の5月、葎の里に対し、新庁舎との一体整備の考え方を伝えた。協議を重ね、施設側から別の案も出されたが、新庁舎3階で販売する案が最適と返答した。その後、施設から4月末をもって閉店する旨の報告を受けた。

性暴力犯罪のない社会の実現、被害者支援の充実を目指して

雪田 きよみ

(問) 性暴力犯罪を防止するためには、幼少期からの性・自己の尊厳・人権等についての重層的な教育が重要。幼児教育及び学校教育での対応は。

(答)教育部長 児童の人権を守る視点から、性暴力を含む児童虐待から子どもを守るため、他機関との連携による組織的取り組みを進めている。早期発見早期対応と共に、子どもたちが虐待に立ち向かう資質、能力を育成していく必要がある。

(問) 幼少期から、身体はあなた自身のもの、それを守ることは大切な人権、との教育が必要では。

(答)教育部長 様々な形で人権、自尊心を高める取り組みをしている。性暴力のみを取り上げてお話しする機会は少ない。今後研究していきたい。

(問) 被害者支援のために、犯罪被害者等支援条例の設置が必要と考えるが、見解は。

(答)市民生活部長 県で施行された条例を踏まえ、市の役割と施策について検討する。

教育再生首長会議の加入は教育の公正性から相応しくない

遠藤 義法

(問) 教育再生首長会議に税金から負担金を出し、加入している目的は。

(答)市長 首長会議には140位の首長と文科大臣、教育局の課長も参加しており、国の方針など生で意見交換でき有効であると認識している。

(問) 首長会議の事業には「教科書に関する調査・研究」の方針があり、事務局として委託している日本教育再生機構は育鵬社の教科書採択を掲げる団体である。公正・中立が必要な教育に首長会議は相応しくない。

(答)市長 教科書選定に関わるべきでなく、慎むべき。

◆庁舎建設の到達・成果は

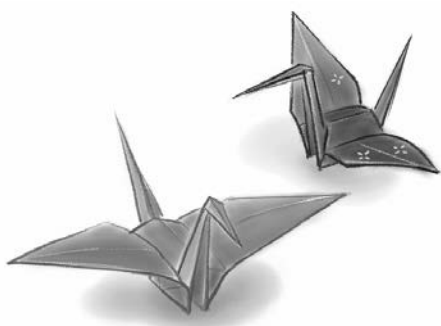
(問) 新庁舎建設の費用総額は。実施設計の建設費と比較して削減額はいくらか。

(答)総務部長 建築と備品などで40億9394万円。実施設計での比較は12億9500万円。請負差額を含めると16億1560万円の削減となる。

子どもたちと共に吉川市の平和事業を

小林 昭子

(問) 原爆が投下され終戦から73年。昨年は国連で核兵器禁止条約が制定され、今年6月には史上初の米朝首脳会談が実現するなど非核への一歩が踏み出されている。市平和事業の更なる充実を願う、子どもたちの平和文集の作成と共に、①学校での「語り部事業」、②中学生平和大使派遣事業③折鶴平和事業の実施をすべきでは。



者も増えている。今年子ども達の平和のつどいに寄せられた感想文を平和パネル展にて広く紹介する。今後も拡充や見直しを行い吉川市平和事業をさらに充実させていきたい。

美南小学校区へ早期にゾーン30導入への財政措置を

小野 潔

(問) 本年入学した1年生は227名、全校児童数は1063名とマンモス小学校となった。「小学1年生の歩行中の死傷者は6年生の3倍以上」との事、美南小学校区の交通安全対策を。

①早期にゾーン30導入への財政措置を②美南駅前交差点をスクランブル交差点化への進捗状況は③美南中央公園多目的広場東入口交差点に横断歩道と信号機設置への進捗状況は。

(答)都市整備部長 ①平成30年以降実施に向け、本年度補正予算を考えている。②平成29年12月8日、吉川警察へスクランブル方式を要望した。③横断歩道は平成29年5月に要望、信号機は今後の発展を踏まえて。

答えて市長！一般質問ー次ページへ続く